

県民意見提出制度による意見とそれに対する県の考え方

山梨県社会資本整備重点計画（第四次）

No.	該当箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方 (対応方針)
1	<p>P7 ○第2章 本県の社会資本整備を取り巻く現状と課題 ○2 本県の現状と課題 ○(2)安全・安心への対応</p>	<p>「フェーズフリー」という防災に関わる新しい考え方を、県として導入することを提案します。 「フェーズフリー」は、「日常」と「災害時」の垣根をなくし、普段利用している商品・サービス・インフラが、災害時に有効に機能するという考え方です。 人々の防災意識に頼らない新しいアプローチであり、行政が提供・管理するサービスやインフラは、フェーズフリーである必要があります。</p>	1	<p>【修正加筆等意見反映】 ○第2章 本県の社会資本整備を取り巻く現状と課題 ○2 本県の現状と課題 ○(2)安全・安心への対応 に、以下の語句を追加します。</p> <p>「また、「日常」と「非常時」を区別せず、いずれの場面でも利用できるフェーズフリーな社会を構築していくことが求められています。」</p>